

## 2006年韓国の木質パネルの需給状況

### 1. 合板

国内生産の合板は針葉樹合板、針広複合合板、広葉樹合板などがある。そのうち、針広複合合板は主にコンクリート型枠用合板である。合板の国内生産量は、2003年に83.4万 $m^3$ で一番多かったが、その後徐々に減少し、2006年には67.3万 $m^3$ となった。

表1 合板の国内生産量、輸出入量および消費量

(単位：千 $m^3$ ，%)

年	国内生産量 A	輸入量 B	計 C = A + B	輸出量 D	輸入比率 (B/C)*100	国内消費量 E = C - D
2000	747	980	1,727	99	56.7	1,628
2001	736	1,165	1,901	61	61.3	1,840
2002	824	1,441	2,265	37	63.6	2,228
2003	834	1,465	2,299	35	63.7	2,264
2004	699	1,260	1,959	43	64.3	1,916
2005	635	1,224	1,859	9	65.8	1,850
2006	673	1,299	1,972	10	65.9	1,962

資料：韓国合板ボード協会

合板の輸入量は徐々に増えて2003年には国内需要の63.7%を占める230万 $m^3$ まで伸びた。2006年の場合、130万 $m^3$ で国内需要の65.9%を占めている。合板

の主な輸入相手国はマレーシア、インドネシアおよび中国などである。

輸出では、コンテナの床用合板として 2000 年を頂点に徐々に減少し、2006 年には 1 万 m<sup>3</sup> となり、その大半が中国に輸出された。

## 2. パーティクルボード

パーティクルボードはリサイクルのチップ、廃棄木材、木材加工廃材などを主原料にしている。表面仕上げの進歩により家具用の素材として需要がますます増加している。

国内生産量は 2000 年からおよそ安定的に推移しており、2006 年には 77.7 万 m<sup>3</sup> が生産された。しかし、2002 年には 100 万 m<sup>3</sup>、2006 年には 95.5 万 m<sup>3</sup> が輸入され、供給過剰をもたらしたとされる。

表 2 パーティクルボードの国内生産量および輸入量

(単位：千 m<sup>3</sup>，%)

年	国内生産量 A	輸入量 B	計 C=A+B	輸入比率 (B/C)*100
2000	722	485	1,207	40.2
2001	723	595	1,318	45.1
2002	728	1,000	1,728	57.9
2003	794	681	1,475	46.2
2004	896	867	1,763	49.2
2005	847	759	1,606	47.3
2006	777	955	1,732	55.1

資料：韓国合板ボード協会

## 3. MDF

MDFは、表 3 に示したように、国内需要は 2002 年に 204 万 m<sup>3</sup> まで増加したが、2003 年から増加の傾向が鈍り、住宅建設の不振によって需要が横ばいになっている。2006 年の国内需要は前年より少し増加の 209 万 m<sup>3</sup> で、国内生産も最高値で 164 万 m<sup>3</sup> となっている。MDFの輸入量は 2002 年を頂点に減少し始め、2006 年には 45 万

m<sup>3</sup>となった。

表3 MDFの国内生産量および輸出入量

(単位：千m<sup>3</sup>、%)

年	国内生産量 A	輸入量 B	計 C=A+B	輸出量 D	輸入比率 (B/C)*100	国内消費量 E=C-D
2000	943	380	1,323	97	28.7	1,226
2001	1,019	491	1,510	78	32.5	1,432
2002	1,236	807	2,043	48	39.5	1,995
2003	1,318	582	1,900	51	30.6	1,849
2004	1,584	343	1,927	81	17.8	1,846
2005	1,653	416	2,069	41	20.1	2,028
2006	1,642	453	2,095	23	21.6	2,072

資料：韓国合板ボード協会

(本稿は大韓民国忠南大学校の金世彬教授、郭昶鎬博士からの原稿に基づき編集した。)